

平成 26 年度守山地区環境情報交換会意見控え

- ・日 時：平成 27 年 2 月 12 日（木）13:30～
- ・場 所：守山市商工会議所
- ・参加者：参加者名簿の通り

1. 主催者湖南・甲賀環境協会 堀田会長より挨拶



2. 滋賀県から情報提供（報告内容・フロン説明会の質問に対する回答については栗東市環境情報交換会を参照願います。）



滋賀県南部環境事務所池田主任技師

4. 守山市情報提供

守山市役所 環境政策課 課長補佐 玉川 隆彦氏
専門員 桜井 茂氏

Q1：臭気指数規制値のもつ意味と具体的な測定方法について

A1：臭気指数 13 はかなり臭いがする程度であり、臭気指数 10 はほとんど臭いがしない程度である。実際の測定については、検査分析業者に依頼してもらったほうがよい。また、簡易の臭気指数測定器もあるので、参考として使用するのもよいのでは。また、次回の環境担当者研修会のテーマとして取り上げることも検討する。



5. 環境事故事例報告



Q1：事故事例7（屋上防水塗装作業）の予防措置について

A1：事例のような状況では、水性塗料を使用するのではなく、速乾性の油性塗料を使用すべきではないか。

6. 情報交換

Q1：油の流出事故について、アルコール等の無色透明な水溶性液体の対処方法は？

A1：油センサーでは検出できないが、TOC や COD の自動測定器であればチェックできる。

Q2：地域コミュニケーションを含む CSR 活動を実施している具体例を知りたい。

A2：出席されたほとんどの事業所で、地元の自治会とのコミュニケーションの場を設けており、その中で工場見学（製造現場は除く）を実施している事業所もある。また、行政との日頃からのコミュニケーションも必要である。環境担当者研修会で説明があった化学物質のリスクコミュニケーションの事例も参考にしてほしい。

Q3：法令の改正もあり、届出の回数も増えているが、各社の届出は確実に行われているか？

A3：各社共に、届出漏れや届出遅れは発生しており完全に無くすことは難しいが、環境関連の施設等が設置や変更されたりする場合にその設置等担当部署と届出担当部署との内部コミュニケーションを確実に実施する仕組みを構築して取り組んでいる。

Q4：蛍光灯に含まれる水銀の現状と今後の規制について

A4：蛍光灯に含まれる水銀の含有量は、極微量になってきている。また、水銀を使用している機器類もかなり減少している。水銀の規制の動きについては、水銀の使用禁止を含んだ国際的な水俣条約が現在検討中の段階にある。

ご参加頂きました皆様

区分	No.	行政名	参加者所属	参加者ご氏名
	1	滋賀県南部環境事務所	副参事	佐野 政史
	2	滋賀県南部環境事務所	主任技師	池田 将平
	3	守山市役所	環境政策課 課長補佐	玉川 隆彦
	4	守山市役所	環境政策課 専門員	櫻井 勝之

区分	No.	会員企業名	参加者所属	参加者ご氏名
	1	関西保温工業(株)滋賀研究所	環境管理委員会 次長	高村 信義
	2	グンゼ(株)守山工場	プラスチックカンパニー技術部 品質保証課 品質保証グループリーダー	中尾 雅人
	3	グンゼ(株)守山工場	プラスチックカンパニー技術部 品質保証課 品質保証グループ環境ISO事務局	松本 保
	4	三光(株)滋賀工場	製造部	玉井
	5	湖南・甲賀環境協会 副会長 地区懇部会長 ダイハツディーゼル(株)守山事業所 守山工場	総務部 部長	清水 弘二
	6	JNCファイバース(株)守山工場	環境安全品質課 主任	高橋 厚志
	7	東レ・ファインケミカル(株)守山工場	環境保安課長	小野 宏幸
	8	東レ・ファインケミカル(株)守山工場	環境保安課	飯田 謙介
	9	日本バイリーン(株)滋賀工場	エンジニアリング部	中井 潤
	10	日本バイリーン(株)滋賀工場	エンジニアリング部	小林 守
	11	富士車輛(株)	環境安全管理チーム	鈴木 正典

区域	No.	会員企業名	出席者所属	ご氏名
	1	湖南・甲賀環境協会 会長	ダイキン工業(株)滋賀製作所	堀田 豊嘉
	2	湖南・甲賀環境協会	顧問	中村 満
	3	NPOびわ湖環境	副理事長	森 毅
	5	NPOびわ湖環境	理事	落 久夫

以上